

ふじさわ市 議会だより

主な内容

- 平成31年度予算審査のあらまし… 2面
- 予算に対する各会派の要望・意見… 3面
- 代表質問… 4～5面
- 代表質問・意見書… 6面
- 常任委員会・特別委員会の動き… 7面
- 議案等審議結果一覧… 8面

No.233

発行 藤沢市議会 編集 広報広聴委員会 発行日 平成31年(2019年)4月25日
 ☎0466-50-3566(直通) FAX 0466-24-0123
 ホームページアドレス <http://shigikai.city.fujisawa.kanagawa.jp/>

2月定例会

生涯学習施設の充実を図る

南市民図書館等を暫定移設

2月定例会は、2月15日から3月20日までの34日間にわたり開催され、市長から提出された平成31年度9会計予算を初め、「工事請負契約の締結について（藤沢市南市民図書館等の暫定移設に伴う工事に係る負担）」など39議案が可決されました。また、議員提出による「精神障がい者にも他障がい同等の交通運賃割引の適用を求める意見書について」ほか1件が可決されました。

この議案は、南市民図書館及び藤沢市民ギャラリーの暫定移設に伴う工事に係る費用を負担するため、協定を締結するもの。

【協定の相手方】小田急電鉄株式会社
 【負担金の概要】南市民図書館等暫定移設工事に係る負担金
 【負担金額】2億4948万円

【工事の場所】藤沢市南藤沢21番1号江ノ電第1ビル ODAKYU 湘南GATE (旧小田急百貨店藤沢店) 6階
 【完了予定日】平成31年5月31日

この議案は、災害弔慰金の支給等に関する法律の一部が改正され、据置期間経過後の貸付利率について条例で定めることとされたことについて

【藤沢市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について】

この議案は、災害弔慰金の支給等に関する法律の一部が改正され、据置期間経過後の貸付利率について条例で定めることとされたことについて

【施行日】平成31年4月1日

【藤沢市建築基準等に関する条例の一部改正について】

この議案は、建築基準法及び建築基準法施行令の一部が改正されたこと等に伴い、条例の一部を改正するもの。

【条例の主な内容】

災害援護資金の償還方法は、元利均等年賦償還、同半年賦償還または同月賦償還とする。

災害援護資金の貸付けを受けようとする者は、保証人を立てることができ、災害援護資金の利率は、据置期間中は無利子とし、据置期間経過後は、保証人を立てる場合は無利子、保証人を立てない場合は延滞金の場合を除き年1%とする。

【施行日】平成31年4月1日

【藤沢市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について】

この議案は、国が定める放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部が改正されたことに伴い、条例の一部を改正するもの。

【条例の主な内容】

放課後児童支援員の資格要件に、社会福祉学等の学科または課程を修めて学校教育法の規定による専門職大学の前期課程を修了した者を加える。

【施行日】平成31年4月1日

【小児医療助成費】4823万4千円

【小児医療の受診件数が当初見込みを上回ることから増額するもの。(第6号)】

プレミアム付商品券発行事務費 2603万8千円

消費税率引き上げに伴う低所得者及びゼロ歳から2歳までの子どものいる世帯への影響を緩和するための商品券発行業務に係る経費。

【報告の主な内容】

この報告は、平成29年度藤沢市一般会計及び介護保険事業費特別会計歳入歳出決算の不認定を踏まえ、市が必要措置を講じたこと、地方自治法の規定に基づき議会に報告するもの。

藤沢市議会では、議会資料のペーパーレス化、情報伝達の迅速化及び文書管理の効率化などを目的として、平成30年2月定例会においてタブレット端末を試行導入し、31年2月定例会から本格運用を開始しました。

タブレット端末を用いた議会資料の共有により、紙の削減による経費削減や環境負荷の低減が見込まれます。また、議員が質問する際の資料が、議場内のモニターやネット中継にカラーで表示され、より市民にわかりやすい議会運営が推進されます。さらに、各議員による議会報告や市民からの問い合わせへの説明など、さまざまな場面で活用が期待されます。



タブレットを活用し、わかりやすい議会運営を推進する

【決算不認定に係る措置について】

この報告は、平成29年度藤沢市一般会計及び介護保険事業費特別会計歳入歳出決算の不認定を踏まえ、市が必要措置を講じたこと、地方自治法の規定に基づき議会に報告するもの。

【報告の主な内容】

事務処理の適正な執行に向け、報酬・賃金支払事務の強化、事務執行に関する指導の徹底等の措置を講じた。

・管理体制の強化に向け、内部統制と不祥事防止の総括業務を専門的に所掌する部署を総務部に新設する。

きかせて！きかせて！次のお話なあに？ 南市民図書館



議会の動き

- 【1月】
- 22日 厚生環境常任委員会
 - 28日 子ども文教常任委員会
- 【2月】
- 4日 災害対策等特別委員会
行政改革等特別委員会
広報広聴委員会
 - 7日 藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会
 - 13日 議会運営委員会
 - 15日 議会運営委員会
本会議(第1日)
 - 19日 議会運営委員会
本会議(第2日)
 - 20日 建設経済常任委員会
 - 21日 厚生環境常任委員会
 - 22日 子ども文教常任委員会
 - 25日 総務常任委員会
 - 26日 補正予算常任委員会
 - 27日 議会運営委員会
藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会
広報広聴委員会
- 【3月】
- 1日 議会運営委員会
本会議(第3日)
 - 4日 議会運営委員会
本会議(第4日)
 - 5日 議会運営委員会
本会議(第5日)
予算等特別委員会
 - 6日 予算等特別委員会
 - 7日 予算等特別委員会
 - 8日 予算等特別委員会
 - 11日 予算等特別委員会
 - 12日 予算等特別委員会
 - 13日 予算等特別委員会
 - 14日 予算等特別委員会
 - 15日 予算等特別委員会
 - 18日 予算等特別委員会
 - 20日 広報広聴委員会
議会運営委員会
本会議(第6日)
補正予算常任委員会

平成31年度 予算 審査 のあらまし

平成31年度一般会計及び8特別会計予算(総額2,691億9,551万3千円)並びに議案第65号「藤沢市職員定数条例の一部改正について」、計10議案は、3月5日に設置された予算等特別委員会において9日間にわたり審査が行われました。その結果、3月20日の本会議で全て可決されました。ここでは、予算等特別委員会の審査の概要をお知らせします。

平成31年度予算等特別委員会委員

| | | | |
|-----|-------|------|-------|
| 委員長 | 佐藤 春雄 | 副委員長 | 武藤 正人 |
| 委員 | 藤原 俊則 | 委員 | 柳沢 潤次 |
| 委員 | 土屋 和樹 | 委員 | 永井 伴子 |
| 委員 | 佐賀 裕介 | 委員 | 原田 宗也 |
| 委員 | 井上 秀憲 | 委員 | 友田 和美 |
| 委員 | 柳田 正義 | 委員 | 平川 英明 |
| 委員 | 有賀 久代 | 委員 | 堺 加藤 |
| 委員 | 東木 淳基 | | |
| 委員 | 吉田 | | |

おもてなし事業 藤沢マイスターや技能職団体と連携 技能、技術の素晴らしさを伝える

質問 平成30年に行われたセーリングワールドカップにて実施された、藤沢マイスター(※)や本市の技能職団体が日本の伝統文化や茶道等を披露するおもてなし事業について、海外の方の見学者が少なく周知が不足していたようだが、31年度以降の取り組みについて聞きたい。

回答 おもてなし事業の実施結果として、セーリング競技の運営が最優先であったため、大会直前までおもてなし事業のブース設置場所以及調整を緊密に行い、セーリングワールドカップや東京2020大会のセーリング競技の場において、本市の技能、技術の素晴らしさを国内外の観光客に伝えるべく、おもてなしにつながる事業展開としていけるよう、藤沢マイスターと本市の技能職団体の協力を得ながら、よりよい実施方法について検討していきたい。

質問 今後の事業展開については、セーリングワールドカップ実行委員会等の運営主体と事前調整を緊密に行い、セーリングワールドカップや東京2020大会のセーリング競技の場において、本市の技能、技術の素晴らしさを国内外の観光客に伝えるべく、おもてなしにつながる事業展開としていけるよう、藤沢マイスターと本市の技能職団体の協力を得ながら、よりよい実施方法について検討していきたい。



改修されたスコアボード=八部公園野球場

八部野球場スコアボード 既存パネルの有効活用 子どもたちに歴史をつなぐ

質問 八部公園野球場のスコアボードの改修工事については、喜びの声を聞く一方、寂しさを感じるなどの意見もあり、スコアボードの廃材について、案内掲示板を作製して目に見えるように再利用する等により、歴史をつないでいくべきと思

回答 八部公園野球場のスコアボード改修工事は、平成30年8月16日から工事に着手し、12月末までの間、スコアボードを電子化するパネル部分を製作した。31年1月から既存のスコアボードに新たなパネルを設置し、3月7日に野球協会を初め関係団体に操作説明などを行い、3月8日に工事が終了した。

既存のスコアボードの廃材の再利用、有効活用については、今までチーム名や選手名等を手書きで表示していたパネル部分を活用し、将来、高校野球等において八部公園野球場で活躍する

電子マネー決済導入の検討を進める
質問 本市で市税のクレジットカード納付が始まり、キャッシュレス化が進んでいくことが考えられる中で、電子マネー決済の導入を検討しているが、導入の状況や、導入のメリット、デメリット、導入のハードル、導入のスケジュールなどについて、市民窓口センターや

回答 電子マネー決済の導入については、庁内で検討している状況であるが、現在普及している電子マネーはチャージ可能な金額の上限が少額であることから、税や保険料の納付には適していないと捉えている。しかし、市民窓口センターや

国保窓口業務委託化課題解決を図る
質問 国民健康保険の窓口業務を民間委託化しているが、窓口業務の効率化や利便性の向上を考えると、電子マネー決済の取り組みを進めていくべきかと考えるが見解を聞きたい。

回答 電子マネー決済の導入については、庁内で検討している状況であるが、現在普及している電子マネーはチャージ可能な金額の上限が少額であることから、税や保険料の納付には適していないと捉えている。しかし、市民窓口センターや

市民病院駐車場わかりやすい表示に
質問 市民病院の平面駐車場が、身体障がい者用スペースとその他の駐車スペースの空き状況がそれぞれ表示されないため、身体障がい者用スペースのみが空いている際に、駐車場に入った健常者の方が身体障がい者用スペースを利用している現状について、どのような対応していくのか聞きたい。

回答 一般車室と身体障がい者用車室それぞれに満車表示の表示をすることについて、駐車場システムのメーカーに確認したところ、各車室にセンサーを付ける必要があるため、整備費用が高額になることや、一部の車室については、制御盤を配置するスペースに転用する必要があるなどの課題が明らかになった。今後、事業者と調整を図りながら検討していきたい。

人権擁護委員候補者の推薦に同意
藤沢市域の人権擁護委員の1人が、平成31年6月30日をもって任期満了となるため、新たな候補者を推薦することについて、議会の意見を求めるもの。議会はこれに同意した。

任期は31年7月1日から34年6月30日までの3年間。
・伊澤 稔氏(新規推薦、藤沢市在住)

藤沢産利用推進店PR方法の工夫を
質問 藤沢産をPRするためのロゴマークや、藤沢産利用推進店について、周知方法を検討していくべきと考えますが、湘南藤沢コンシエールの視察案内スベールに、藤沢産利用推進店の写真等を掲載したり、携帯で読み込むと店舗情報等が表示されるQRコードを掲載したハネルを設置する等により、歴史をつないでいくべきと思

回答 八部公園野球場のスコアボード改修工事は、平成30年8月16日から工事に着手し、12月末までの間、スコアボードを電子化するパネル部分を製作した。31年1月から既存のスコアボードに新たなパネルを設置し、3月7日に野球協会を初め関係団体に操作説明などを行い、3月8日に工事が終了した。

駅周辺の駐輪場さらなる整備を検討
質問 今更にさまざまな手法で駐輪場が増設され、放置自転車が減少してきているが、放置自転車が減少している場所もあり、それにより不公平感が生じてしまっている。駅周辺は、通勤通学などで利用される長時間の駐輪、買い物等で利用される短時間の駐輪など、それぞれの利用形態を踏まえ、増設が必要だと考えて

回答 放置自転車については、街頭指導員の配置等で対策をしている。また、鉄道事業者が所有する土地の放置自転車対策については、鉄道事業者と協議をしながら、他市で行っている、鉄道事業者と協定を結び、放置自転車として撤去する取り組みを参考に、本市でもそのような取り組みをしていきたいと考えている。



駐輪場のさらなる整備を検討していく

(※) 藤沢マイスター…藤沢市では優れた技能を有する技能者を藤沢マイスターとして認定し、技能振興に関するさまざまな活動を行っている。

予算に対する 各会派の要望・意見

日本共産党藤沢市議会議員団は平成31年度一般会計予算ほか5特別会計予算案等に反対し、市民派クラブは一般会計予算案について反対し、その他の会派は全予算案に賛成しました。
ここでは、予算に対する各会派の要望・意見の要旨をお知らせいたします。

スクールロイヤー導入 主体的な取り組みを 民主クラブ 9人

①市の業務のICT化は避けられないが、職場コミュニティの再構築、総務機能強化による人材育成と職員のスキルアップ、不適切な事務処理撲滅のために効率的な組織改正を図ること。②職員の持ち家に係る住居手当は一つの手当だけを単純に捉えるのではなく、将来に向けた人材確保、職員のモチベーション確保の視点も十分踏まえた制度とすること。③市民会館再整備は、市民参加による運営を求めるとともに、これまで運営を担ってきた職員の雇用課題について設置者責任を果たすこと。

と。④湘南台駅西口の路上喫煙禁止区域における喫煙所は、健康増進法の改正を踏まえ、早期に対策を図ること。⑤ペットボトル、缶・鍋類の夏季毎週収集化は、作業従事者の労務管理面の課題等に十分な対策をし、今後の方向性について慎重に判断すること。⑥今後のケアライ支援は、地域の専門職と連携し、支援方針を組み立てながら、ケアライの置かれたさまざまな状況に寄り沿った対応を。⑦中高年のニート・引きこもりの問題については、年齢で区別することのない支援に見直すこと。⑧湘南東部医療圏における重症心身障がい児者の療養介護入所施設の早期整備に向けた検討を。⑨神奈川県が策定を進めている再犯防止推進計画の動向を注視するとともに、保護司会や更生保護女性会と連携し、再犯防止に向けた取り組みの推進を。⑩藤沢駅南口駐輪場の整備は、放置自転車対策の観点だけでなく、駅前再整備事業との整合性を図ること。⑪学校における子どもの安全確保は行政の責務であり、防犯カメラ設置の具体的な取り組みを進めること。⑫「やさしい日本語」は、津波避難経路の路面標識への採用や市内各部署が所管する行政情報に取り入れるなどの取り組みが進んでいるが、教職員向けの啓発や研修も含め、さらなる推進を。⑬スケートボードのオリンピックの新種目化という機会を逃すことなく、西北部地域におけるプレイグラウンドの整備を。⑭学校現場における保護者対応には、対応次第で重大事案にならざるを得ない等の課題があり、スクールロイヤーと呼ばれる職員弁護士との導入に向けて主体的な取り組みを。⑮放課後子ども教室、児童クラブなどとの学校施設の複合化に対しては、学校施設整備方針や放課後児童クラブを運営する際の基本原則などのルールを遵守して進めること。⑯(仮称)藤沢市子どもの貧困対策実施計画の策定に当たり、藤沢市子ども子育て家庭の生活実態調査を子どもたちの笑顔と元気を保証するエビデンスとして生かすこと。

持ち家の住居手当 即刻廃止すること 市民クラブ藤沢 8人

①職員の定数と人件費については丁寧に見直しを行い、抑制を前提に組織運営を行うこと。②職員の持ち家に係る住居手当は、全国状況や総務省からの通知を踏まえ、手当の廃止を遅らせようとせず、即刻廃止すること。③市役所代表電話交換業務の委託による質の低下の原因や財源効果をしつかりと検証し、今後の他の委託に生かすこと。④さまざまな見守りアプリを使った実証実験を行い、住民主体で子ども、高齢者、認知症の方を支える

まちづくりを進めること。⑤「避難所での認知症の人と家族支援ガイド」を使い、各部が連携して自治会や自主防災組織と避難訓練等で認知症に対する理解を深めること。⑥いきいきシニアライフ応援事業は、生活環境や就業、健康や余暇についてニーズや現況調査を行い、施策を再構築すること。⑦第二期藤沢市子ども子育て支援事業計画の策定に当たっては、第一期の計画で達成されなかった点について原因を精査して市民に提示し、第二期の計画に生かすこと。⑧放課後児童クラブ、放課後子ども教室の学校内への設置は、子ども青少年部と教育委員会だけでなく、市民自治部等も参画し、十分な検討と議論の透明化を図ること。⑨児童虐待への対策として、既に児童相談所の設置を行っている横須賀市の実態を調査し、本市での児童相談所の設置の必要性を検討すること。⑩水田や農地を保全し、生産していくために、市が率先して生産者組織の法人化に対して支援を行うこと。⑪商店会を活性化するための、市民自治部等も参画し、十分な検討と議論の透明化を図ること。⑫「やさしい日本語」は、津波避難経路の路面標識への採用や市内各部署が所管する行政情報に取り入れるなどの取り組みを進んでいるが、教職員向けの啓発や研修も含め、さらなる推進を。⑬スケートボードのオリンピックの新種目化という機会を逃すことなく、西北部地域におけるプレイグラウンドの整備を。⑭学校現場における保護者対応には、対応次第で重大事案にならざるを得ない等の課題があり、スクールロイヤーと呼ばれる職員弁護士との導入に向けて主体的な取り組みを。⑮放課後子ども教室、児童クラブなどとの学校施設の複合化に対しては、学校施設整備方針や放課後児童クラブを運営する際の基本原則などのルールを遵守して進めること。⑯(仮称)藤沢市子どもの貧困対策実施計画の策定に当たり、藤沢市子ども子育て家庭の生活実態調査を子どもたちの笑顔と元気を保証するエビデンスとして生かすこと。

地域完結型の医療 積極的に情報発信を 藤沢市公明党 6人

①自主防災組織への具体的な支援をするため、消防再任用職員の市民センターへの配置を拡大すること。②全国販売が開始された乳児用液体ミルクを災害用備蓄品として早期に導入すること。③自転車利用者の損害賠償保険の加入を義務づける条例の制定を。④振り込め詐欺等の特殊詐欺対策に有効な迷惑電話防止機器を、有償頒布を視野に入れた本格的に導入すること。⑤障がい者スポーツ環境の充実と共生社会の推進に向け、市内全小中学校でパラリンピアン等による講演会等を実施すること。⑥児童生徒が相談しやすいアプリを活用したいじめ相談体制の充実を図ること。⑦特別支援学級を早急に整備するとともに、通級指導の充実と加配職員数のさらなる確保を図ること。⑧不育症治療費助成事業は、具体的な目標値を持った周知啓発を図り改善すること。⑨地域の中でコミュニティインシヤルワーカーを支える体制の構築を。⑩地域完結型医療としての在宅医療に対する本市の方針と取り組みを積極的に情報発信すること。⑪がん患者等の外見の変化に伴う苦痛を軽減するアピランスケアについて、誰もが手を取りやすいリーフレット等により理解

と周知を図るとともに、医療用ウィッグ購入助成を実施すること。⑫骨髄ドナーとドナーが勤務する事業所への支援を行い、ドナー登録を推進すること。⑬小学校でがんの経験講話を交えたわかりやすい授業を実施し、中学校では医療関係者によるがん検診の重要性に結びつく授業を全校実施すること。⑭交通まちづくりという市民参加型の計画アプローチにより、目指すべき地域の姿を市民とともに考えた公共交通網の整備と構築を進めること。⑮ペットボトル、缶・鍋類回収の夏季毎週化について、最少経費で最大効果を追求した取り組みを実践し、早期に全市において実現すること。

市内農水産物のPR ふるさと納税活用を ふじさわ湘風会 6人

①職員の持ち家に対する住居手当は、通勤手当の縮減や災害時の担い手の拡充等のために市内在住者へのインセンティブにするなど、見直しに向けた検討を。②耐震性飲料用貯水槽は、具体的なバックアッププランを備えるなど、災害の程度にかかわらず運用できる仕組みの構築を。③街頭防犯カメラ設置補助は、自治会・町内会への周知とともに、任意団体への補助も検討すること。④いわゆるごみ屋敷について、当事者に寄り添った支援と隣住民の安全安心な

生活環境確保の両面を重視し、条例策定の検討を。⑤介護分野において、事業所と連携した外国人の働き手のスムーズな受け入れと、人材不足の課題解消に資する取り組みを図ること。⑥Discover FUJISAWAなど外国人観光客向けのウェブサイトを改善し、より多くの観光客に訪れてもらえるよう周辺環境整備と合わせた取り組みをサポートし、速やかに復興できるように備えること。⑦ふるさと納税の返礼品を通じた市内農水産物のPRは、農家等の安定的経営と地域経済振興のため、生産者の意見を聞きさらなる取り組みを進めること。⑧まちの価値を高め本市の文化芸術振興に資するパブリックアートを生かしたまちづくりの取り組みを。⑩デリバリー方式での中学校給食は、食育の視点を持ち、質的向上に取り組むこと。⑪八部野球場の旧スコアボードは、部材を活用した案内表示板をつくるなど、レガシーとして残す取り組みを。⑫東京2020オリンピック・パラリンピックの気運を高めるため、オール藤沢での取り組みを。⑬公共施設の自動販売機は、設置時に公募の競争入札を導入し、よりよい条件を引き出せるよう取り組むこと。⑭老朽化が進む水道について、将来のために積立金や基金導入などの検討を始めること。

認可外幼児教育施設 市独自で予算措置を 日本共産党藤沢市 議会議員団 4人

①日本政府に対し、核兵器禁止条約に参加するよう強く求めること。②10月からの消費税10%増税は中止すべきとの立場を明確にし、国に働きかけること。③都市マスタープランを見直し、開発優先から農地や緑を守り、環境を保全するまちづくりを。④村岡新駅建設と拠点整備事業は中止し、地区公共交通網の充実を。⑤国民健康保険の窓口は高度な知見と専門性が要求されるため、民間委託は中止すること。⑥行財政改革における事業選択の基本方針と33の見直し検討対象事業は撤回すること。

こと。⑦特養ホームを計画的に整備し、待機者解消と介護人材の定着確保を一体的に行い、介護高齢者福祉の充実を図ること。⑧若年世代向けの家賃補助制度を創設し、住居費負担の軽減を図ること。⑨待機児童の解消は、公立あるいは株式会社でない法人立の保育園の増設で対応すべき。⑩認可外幼児教育施設を無償化の対象とし、市独自でも予算措置を行うこと。⑪中学校給食は、健全な食生活を営むことができ、判断力や共同の精神を養うため、デリバリー方式を見直し、単独自校方式に切り替えること。⑫住宅リフォーム助成制度を創設し、中心的な地域経済振興施策として位置づけること。

災害対策の取り組み 強化計画の策定を 自民党藤沢 1人

①働き方改革などを積極的に進め、未来志向の政策を考える人材育成に取り組むこと。②骨髄移植に伴う2度目のワクチン接種の無償化の実施に積極的

極的に取り組むこと。③生産年齢人口の確保、地域経済の循環、雇用の創出など産業の新陳代謝を促進する取り組みの推進を。④洪水ハザードマップの改定や雨水貯留管の再整備など、ソフト・ハード両面からの災害対策と、藤沢市域強化計画の策定に取り組むこと。

(※1) アクティブ・ラーニング…問題解決学習。学習者の能動的な参加を取り入れた教育法の総称。
(※2) バリューエンジニアリング…製品やサービスの価値をそれが果たすべき機能と、そのためにかけるコストとの関係で把握し、システム化された手順によって価値の向上を図る手法。

代表質問

主な質問と答弁

2月定例会では、「一般質問」(議員個人による市政全般に対する質問)にかえて、新年度の市長の施政方針や予算案等に対し、会派を代表した議員が「代表質問」を行い市政をチェックしています。今定例会の代表質問は、3月1日、4日、5日の3日間にわたって行われ、7名の質問者が、市長の政治姿勢などについて、市の考えをただしました。

内部統制の強化

新たな組織と体制を構築 所属長を中心とした取り組みを進める

(藤沢市公明党)
質問 決算不認定の議決に
答弁 不適正な事務処理の
根絶に向け、内部統制をさ
らに強化し、安定的、継続
的な取り組みとするために
は、専門的に所掌する部署
が必要である。そのために
新たな組織と体制を総務部
と企画政策部に設け、市長
がリーダーシップを取り、



消防救急体制を強化して市民の安全安心を守る = 遠藤出張所

社会情勢の変化に対応

消防救急体制

整備を進め充実強化を図る

(ふじさわ湘風会)
質問 少子超高齢化の進展
や人口減少を迎えるに当た
り、消防救急体制は住民の

生命・身体・財産を守る根
源的な行政サービスである。
その維持のためには、人的
財政的な制約が厳しくなつ
ても、消防救急力の確保に
安定的、持続的に取り組む
べきと考えるが、今後の体
制について聞きたい。

答弁 本市の消防が発足し
て以降、さまざまな災害が
発生し、消防を取り巻く環
境は大きく変化してきた。
また、火災については、建
物の集合化、高層化、複雑
化が進み、一度に多数の死
傷者が発生する都市型災害
へと変化してきた。さらに、
少子超高齢化社会を迎え、

救急需要も増加、高度化し
ており、市民生活における
消防に対する期待が大きく
なっている。
このような社会情勢の変
化に対応するため、遠藤出
張所開設など消防庁舎の整
備及び適正配置に努めると
ともに、救急ワークステー
ション新設、江の島救急車
の配置、さらに、平成31年
度は六会出張所救急隊の新
設に向け計画を進めること
で、着実に消防救急体制の
充実強化を図っている。

今後は、消防職員の確保
や装備の充実等に積極的に
取り組むとともに、広域応
援体制の充実強化及び近隣
消防本部との広域化や広域
連携などの検討も必要とな
ることから、あらゆる対策
を常に講じ、市民の安全安
心を守り続けていきたい。

**地域課題の解決
協働体制で取り組む**
(市民クラブ藤沢)
質問 施政方針には、暮ら
しやすさの向上のために、
自治会・町内会や民間企業
などの多彩な主体が新たな
アイデアを生み出し実践し
ていく、ソーシャルイノベ
ーションを進めていくと記
載されているが、具体的に

取り組むと、広域応
援体制の充実強化及び近隣
消防本部との広域化や広域
連携などの検討も必要とな
ることから、あらゆる対策
を常に講じ、市民の安全安
心を守り続けていきたい。

こうした取り組みを後押
しするNPO運営相談サポ
ートテラスでは、参画して
いる団体の特性を生かし、
思いや熱意のある団体に
対する講座の開催や伴走的な
支援を実施する中で、人や
組織が成長し、社会的な課
題解決のビジネスモデルと
なるよう団体の力を育て
ていく。また、市民活動推進
センターでは、地域課題の
本質を捉えながら、地域に
おける共生と協働という目
標に向かって多様な主体と
連携していくなど、中間支
援組織の重要な役割である
共感を育むコーディネート

NPO 運営相談サポートテラスによる講座の様子

会派別 代表質問項目

※多数会派順、同数会派は結成届出順

民主クラブ

- 1 市長の政治姿勢について

市民クラブ藤沢

- 1 市長の政治姿勢について

藤沢市公明党

- 1 市長のリーダーシップについて
- 2 市民・地域・行政で創るまちについて
- 3 教育と、子どもたちが健やかに育つまちについて
- 4 犯罪・災害・事故に強い、安全・安心のまちづくりについて
- 5 思いやる福祉と、医療・健康のまちについて
- 6 環境と共生し生活力を創出するまちについて
- 7 人権尊重と芸術・文化・スポーツ振興のまちについて

ふじさわ湘風会

- 1 市長の政治姿勢について

日本共産党藤沢市議会議員団

- 1 憲法を市政に生かし、国のいいなりでない、住民が主人公の市政にすることについて
- 2 市民の福祉、暮らし、子育て支援を拡充することについて
- 3 税金の使い方を市民が望む福祉や暮らしの分野を優先にすることについて

自民党藤沢

- 1 市長の政治姿勢について

市民派クラブ

- 1 財政について
- 2 核兵器廃絶平和都市宣言推進事業について
- 3 公共施設のあり方について
- 4 防火管理義務について
- 5 シティプロモーションについて
- 6 市立中学校の部活動指導について
- 7 都市計画道路の整備計画について
- 8 工事契約について

危機管理基本計画 安全安心を確保する

(市民クラブ藤沢)
質問 オリンピックセーリ
ング競技の開催中は、テロ
災害等の発生が懸念される
が、市民の安全安心を確保
する市としての体制づくり
や関係機関との連携、協力
について聞きたい。

答弁 東京2020オリン
ピック・パラリンピック競
技大会開催に向け、危機事
案に対する事前対策の推進
の発生を想定した国民保護
と、危機事案が発生した場
合の迅速、適切な対応のた
め、平成31年1月に藤沢市
藤沢市の共同による訓練を
実施した。

一方、大会期間中の警戒
態勢については、本庁舎内
に市警戒本部を、セーリン
グ競技会場やその周辺に市
大会現地警戒本部を設置し、
情報収集及び迅速な初動態
勢を確立するとともに、競
技会場周辺に加え、主要駅
や集客施設など、市内全体

の警戒態勢を強化していく。
また、台風などの自然災害
が発生した場合も、関係機
関と連携を図り、市内全域
で災害対応に取り組むこと
で、大会開催期間中の市民
の安全安心の確保に万全を
期していく。

やさしい日本語 多文化共生に生かす

(民主クラブ)
質問 外国につながる市民
等への支援を考えた場合、
多言語対応として多くの自

治体で導入が進む「やさし
い日本語」の導入が必要と
考えるが、その進展の状況
と、外国につながる市民と
の共生の取り組みについて
聞きたい。

答弁 本市では、藤沢市多
文化共生のまちづくり指針
に基づき、誰もが多様な文
化を認め合い自分らしい生
き方ができる、ともに生き
る地域社会づくりを目指し
ている。今後、外国につな
がる市民が大幅に増加する
ことが予測されるため、市

民や団体、大学、企業等と
協働し、多文化共生施策を
推進していく。
また、「やさしい日本語」
の導入は、多言語による情
報発信を補完する有効な手
段であるだけでなく、全て
の人にとってわかりやすい
行政文書づくりにつながる
ものである。本市では、ふ
じさわ生活ガイド等におい
て使用しているほか、平成
30年度設置分の津波避難経
路路面標識に採用する等の
取り組みを進めている。具
体的には、「生活する」は「
すむ」、「避難」は「に
よる」というように、語句
を平易な表現に言い換える
ほか、文の構造を簡単に短
くする等の工夫をしている。

ふじさわ夢チャレンジ

健康づくりへのインセンティブ
健康寿命日本一を目指す

(市民クラブ藤沢)

【質問】 超高齢化を迎える厳しい現状を考えると、リーディングプロジェクトを今後進めていく必要があると考えるが、今後のあり方と、平成31年度の施策であるふじさわ夢チャレンジの事業内容が、リーディングプロジェクトにどう反映されるのか聞きたい。

【答弁】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 超高齢化を迎える厳しい現状を考えると、リーディングプロジェクトを今後進めていく必要があると考えるが、今後のあり方と、平成31年度の施策であるふじさわ夢チャレンジの事業内容が、リーディングプロジェクトにどう反映されるのか聞きたい。

【答弁】 本市では、藤沢市一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの減量・資源化に取り組んでいる。市民と共同した具体的な取り組みを通じてオリンピック・パラリンピックに向けた気運を高めるとともに、健康づくりへのインセンティブを高めるために、健康づくりの導入や、小学4年生を対象としたごみ体験学習会でのリーフレット配付などを実施しているほか、収集事業者を通じての分別指導や企業・飲食店などへの調査を実施するなど、ごみの焼却抑制に努めている。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。

【質問】 健康寿命日本一を目指すリーディングプロジェクトは、本市の目指すべき姿を「湘南の元気都市・健康寿命日本一」のまち「ふじさわ」と位置づけ、市民が楽しく気軽に健康づくりに取り組めるよう、重点的かつ先導的に推進するものである。今後は、これまでの取り組みを検証し、31年度に予定している健康増進計画(第2次)の中間評価とあわせて、さらに推進できるように検討していく。



ヤングケアラーの支援教育に関する研修会の様子

地域の専門職と連携
家族介護者の支援
市民への周知啓発に取り組む

【質問】 精神疾患のある親を持つ子どもへの支援を初め、障がいのある方の家族支援

【答弁】 本市では、介護者の地域での孤立防止や介護ストレスの緩和の観点から、家族介護者教室や講演会の開催、交流の場の提供などを実施している。その他、地域包括支援センターやパ

【質問】 精神疾患のある親を持つ子どもへの支援を初め、障がいのある方の家族支援

【答弁】 本市では、子どもから高齢者までを総体で捉えた藤沢型地域包括ケアシステムの構築が進んでいるが、誰が誰をどのように支えていくのかとも見えにくい

【質問】 精神疾患のある親を持つ子どもへの支援を初め、障がいのある方の家族支援

【答弁】 本市では、子どもから高齢者までを総体で捉えた藤沢型地域包括ケアシステムの構築が進んでいるが、誰が誰をどのように支えていくのかとも見えにくい

【質問】 精神疾患のある親を持つ子どもへの支援を初め、障がいのある方の家族支援

【質問】 精神疾患のある親を持つ子どもへの支援を初め、障がいのある方の家族支援

【答弁】 本市では、子どもから高齢者までを総体で捉えた藤沢型地域包括ケアシステムの構築が進んでいるが、誰が誰をどのように支えていくのかとも見えにくい

【質問】 精神疾患のある親を持つ子どもへの支援を初め、障がいのある方の家族支援

【答弁】 本市では、子どもから高齢者までを総体で捉えた藤沢型地域包括ケアシステムの構築が進んでいるが、誰が誰をどのように支えていくのかとも見えにくい

【質問】 精神疾患のある親を持つ子どもへの支援を初め、障がいのある方の家族支援

【答弁】 本市では、子どもから高齢者までを総体で捉えた藤沢型地域包括ケアシステムの構築が進んでいるが、誰が誰をどのように支えていくのかとも見えにくい

【質問】 精神疾患のある親を持つ子どもへの支援を初め、障がいのある方の家族支援

【質問】 精神疾患のある親を持つ子どもへの支援を初め、障がいのある方の家族支援

【答弁】 本市では、子どもから高齢者までを総体で捉えた藤沢型地域包括ケアシステムの構築が進んでいるが、誰が誰をどのように支えていくのかとも見えにくい

【質問】 精神疾患のある親を持つ子どもへの支援を初め、障がいのある方の家族支援

【答弁】 本市では、子どもから高齢者までを総体で捉えた藤沢型地域包括ケアシステムの構築が進んでいるが、誰が誰をどのように支えていくのかとも見えにくい

【質問】 精神疾患のある親を持つ子どもへの支援を初め、障がいのある方の家族支援

【答弁】 本市では、子どもから高齢者までを総体で捉えた藤沢型地域包括ケアシステムの構築が進んでいるが、誰が誰をどのように支えていくのかとも見えにくい

【質問】 精神疾患のある親を持つ子どもへの支援を初め、障がいのある方の家族支援

お知らせ

「ふじさわ市議会だより」は、紙面の都合で発言の一部を掲載しています。詳しくは、会議録をご覧ください。
なお、会議録は、図書館、市民センター、公民館、市政情報コーナー(市役所本庁舎4階)、または市議会のホームページでご覧いただけます。2月定例会の会議録は5月下旬ごろから閲覧できます。
また、目の不自由な方や読みづらい方のために、点字と声のふじさわ市議会だよりを発行していますので、ご希望の方は、議会事務局議事課までご連絡ください。

議会を傍聴しませんか

閉会中に開催する諸会議及び6月定例会は、右の日程表のとおり開催する予定です。
なお、日時等は、変更になることもありますので、詳しい内容については、下記へお問い合わせください。
本会議等の議場で行う会議において、難聴者用ヒアリンググループの使用を希望される方は、当日に議会事務局へお申込みください。
また、手話通訳及び要約筆記を希望される方は、傍聴希望日の5日前(土日祝日を除く)までに、申込書(ホームページ掲載・議会事務局にて配付)によりお申込みください。
【問合せ】 議会事務局 議事課
☎ 0466-50-3566(直通)
FAX 0466-24-0123
Eメール fj-giji@city.fujisawa.lg.jp

閉会中に開催する諸会議

Table with 3 columns: 開催日, 開催時刻, 会議名. Lists various council meetings from May 8th to June 3rd.

請願と陳情のご案内

6月定例会では、請願・陳情ともに6月3日(月)正午までに提出されたものを審査します。
また、請願者と陳情者は、希望により委員会において趣旨説明(意見陳述)を行うことができます。
※提出方法については議会事務局議事課にお問い合わせください。

6月定例会

Table with 3 columns: 開催日, 開催時刻, 会議名. Lists the agenda for the June regular session from June 6th to June 26th.

※各本会議の日には、9:30 から議会運営委員会が開催されます。

(※) VR…仮想現実。コンピューターの作り出す仮想の空間を現実であるかのように知覚させる技術。

代表質問

主な質問と答弁

多言語観光案内サイン

クラウドファンディングを実施 財源を確保して整備を進める

(民主クラブ)

質問 東京2020大会を契機に、今後増加が予想される観光客などの受け入れ体制を充実させる必要がある。多言語に対応した観光案内サインについて、クラウドファンディングによる目標金額と整備の概要、認識されるリスクと課題にどう対応するのか聞きたい。

答弁 本市では、観光案内整備プランを作成し、整備に向けた取り組みを進めている。新たな財源確保としてクラウドファンディングを実施し、案内板の設置費などを考えている。また、クラウドファンディングの目標金額は150万円、実施時期は約2カ月間を予定しており、目標金額に達しない場合も事業は行うことと想定している。リスクや課題としては、公共の観光案内サインであることを踏まえ、マップや方向案内板への寄附は、対象を限定する必要があることや、表示内容が屋外広告物条例に抵触しないよう調整が必要などが考えられる。また、東京2020大会の期間中には表示できない可能性があるが、これらを募集段階から適切に周知することが課題と考えている。



クラウドファンディング実施による観光案内サインのイメージ

に基づいた今後10年先を見据えた市の考えを聞きたい。

答弁 近年、各商店では高齢化が進み、後継者も不足している状況から、イベントを実施するにも人的な余力のない状況となっている。後継者不足は国内共通の課題であり、国の平成31年度税制改正法案において、個人事業者の事業承継を促進するため、新たに相続税贈与税の納税猶予制度を創設することが示されている。本市では、30年7月に、かながわ信用金庫と事業承継対策や後継者支援の推進など、市内中小企業の支援をテーマの一つとした包括連携協定を締結した。今後は、市内金融機関や経済団体と連携し、円滑な世代交代を通じて事業の持続的な発展が確保されるよう支援体制を構築していく。

商店街の活性化 経済団体と連携

(市民クラブ藤沢)

質問 商店の数は減少する現状であり、地域ごとの特性や人口構成等の強みを生かすなど再活性化は可能であると考えるが、商店街活性化について、中長期視点

から適切に周知することが課題と考えている。

答弁 近年、各商店では高齢化が進み、後継者も不足している状況から、イベントを実施するにも人的な余力のない状況となっている。後継者不足は国内共通の課題であり、国の平成31年度税制改正法案において、個人事業者の事業承継を促進するため、新たに相続税贈与税の納税猶予制度を創設することが示されている。本市では、30年7月に、かながわ信用金庫と事業承継対策や後継者支援の推進など、市内中小企業の支援をテーマの一つとした包括連携協定を締結した。今後は、市内金融機関や経済団体と連携し、円滑な世代交代を通じて事業の持続的な発展が確保されるよう支援体制を構築していく。

地産地消の推進 国際水準認証取得へ

(藤沢市公明党)

質問 藤沢市地産地消推進条例が制定されてから間もなく10年が経過する。条例の目的にかなった効果のある取り組み、また、さらなる推進のための今後の取り組みについて市の考えを聞

きたい。

答弁 本市の地産地消への取り組みとしては、平成21年9月に藤沢市地産地消推進条例が制定され、22年6月には藤沢市地産地消推進計画を策定したほか、31年度からは第4期の推進計画がスタートする。これまで条例の目的にかなうよう、藤沢産利用推進店の認定を初め、さまざまな取り組みを実施してきた。第4期推進計画においては、第3期推進計画に引き続き、重点的に取り組み施策と長期的に取り組む施策に大別し、取り組みを進めていく。新たな取り組みとしては、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会での藤沢産農水産物の供給及び活用を掲げており、具体的には、競技大会の選手村等に、本市の地産地消品を供給する。また、食料調達基準を満たす国際水準等の認証取得への取り組みを推進する。

中学校部活動指導員 導入目指し課題整理

(市民派クラブ)

質問 平成31年度、国は部活動指導員の配置補助金の予算を2倍に拡充し、全国の公立中学校の約3割に当たる3千校に部活動指導員が導入となる見通しとの報

告があるが、本市の導入はなぜここまでおこなわれているのか聞きたい。

答弁 部活動指導員の導入に当たり、国は各自自治体に対し、スポーツ庁や文化庁のガイドラインを踏まえた方針の策定を求めている。教育委員会としては、方針は本市の実態に合い、実効性のあるものでなければならぬとの考えから、30年度に校長会、教頭会、市中部連、教職員の代表などによって組織される部活動ガイドライン検討委員会を設置し、スポーツ庁、文化庁及び神奈川県ガイドラインを踏まえ、現場の状況を十分聞き取りながら、教員や生徒にとって望ましい部活動環境を構築するために慎重に検討を進めてきた。

教職員の働き方改革 4つの柱で推進する

(民主クラブ)

質問 低賃金、長時間労働の是正などの働き方改革は待ったなしの問題となっており、持続可能な学校教育のために、教職員の働き方改革に向けてどのように取り組むのか聞きたい。

答弁 教員不足の解消と労働環境の改善のため、教職員の働き方改革は大変重要であると捉えている。現在、藤沢市立学校教職員の働き方改革基本方針の策定に取り組んでいるが、この方針によって教職員の長時間労働が是正され、心身ともに健康で元気で生き生きと働き方改革を推進していく。具体的取り組みとしては、人的支援や人材活用、ICT等の活用による効率化、担うべき業務の適正化、働き方改革に向けた意識の醸成の4つの柱を考えている。中学校においては部活動指導員が長時間勤務の課題となっており、現在策定している「藤沢市の部活動の在り方に関する方針」の中で部活動指導員制度の導入を検討し、教員の長時間勤務の削減を図り、教職員の働

いずみ野線延伸 関係者と連携を図る

(ふじさわ湘風会)

質問 相鉄いずみ野線の延伸は、平成29年6月議会で、おむねA駅、B駅の位置が合意された報告がなされたが、その後の取り組みや現在の検討状況、またA駅、B駅周辺のまちづくりについて聞きたい。

答弁 いずみ野線延伸については、いずみ野線延伸協議委員会において検討を進めてきている。現在は、平塚市が新たに構成員として加わるなど、検討体制を強化し、進めている。これまでに神奈川県による鉄道の技術基準に基づいた線形や施設の概略構造の検討が行われた結果、関係機関等と協議を進めて

現在の部活動指導員と部活動が期待できることから、30年度末を目途に策定を進め整理を行っており、32年度に「藤沢市の部活動の導入を推進する方針」として、部活動にも、藤沢市立学校教職員の働き方改革基本方針の中核となる部活動指導員の導入を推進する。また、部活動の導入に当たり、国は各自自治体に対し、スポーツ庁や文化庁のガイドラインを踏まえた方針の策定を求めている。教育委員会としては、方針は本市の実態に合い、実効性のあるものでなければならぬとの考えから、30年度に校長会、教頭会、市中部連、教職員の代表などによって組織される部活動ガイドライン検討委員会を設置し、スポーツ庁、文化庁及び神奈川県ガイドラインを踏まえ、現場の状況を十分聞き取りながら、教員や生徒にとって望ましい部活動環境を構築するために慎重に検討を進めてきた。

意見書

2件を政府等へ提出

○精神障がい者にも他障がい同等の交通運賃割引の適用を求める意見書
さまざまな施設の入場料や交通機関の運賃などには、障がい者割引の制度が設けられている。その場合、介助者が同行すれば外出や移動が可能となるため、介助者にもほぼ割引が適用されている。これまで身体障がい者知的障がい者について、ほとんどの交通事業者が障がい者割引の制度を設けてきたが、JRを初め多くの鉄道、バス事業者には、いまだに精神障がい者割引を適用する動きが見られない。精神障がい者は通院、服薬すれば社会参加が可能な疾病であり、介助者が同行すれば安定して通院することができるとしている。神奈川県内の米軍基地は12カ所あり、日本の航空法が適用されない米軍機が住宅、学校、病院の上を昼夜低空飛行している。日米地位協定は条約ではないが、日本の法律憲法を超越しており、また協定の詳細を決める日米合同委員会に、日本の国会は関与できない。神奈川県民、藤沢市民の生活と生命の安全がなされるに必要とされており、この危険性を負わされている。よって、政府に対し、全国知事会の提言に基づき、日米地位協定の抜本的な改定を行うことを強く要望する。(以上、要旨を掲載)

○日米地位協定の抜本的改定を求める意見書
全国知事会は、故翁長

質問 子育ては社会全体で支えるものであり、子どもの医療費無料化の年齢拡大に当たっては、所得制限をつけることはやめて、段階的に高校卒業までを目指すべきと考えるが、見解を聞きたい。

答弁 小児医療費助成制度については、子どもの医療

費に係る保護者の経済的負担を軽減することにより、安心して子育てができる環境づくりのさらなる推進を図るため、平成31年4月から通院に係る医療費助成を中学校3年生まで拡大していく。子どもたちの健全な成長を支援するという点では、全ての子どもたちに対し医療費助成を行うことが望ましいと考えているが、限られた財源の中で継続的に安定した制度運営を図る必要があるため、中学生については現行の児童手当に準じた所得制限を設けることとしている。あわせて、中学生の入院に係る医療費助成についても、通院に係る医療費と同様、旧児童手当の特例給付の基準から現行の児童手当に準じた所得制限へと変更し、緩和を図っていく。また、対象とな

る中学生には、医療機関等で保険診療分に係る医療費を負担することがないよう新たに医療証を交付し、利便性を高めていく。

質問 低賃金、長時間労働の是正などの働き方改革は待ったなしの問題となっており、持続可能な学校教育のために、教職員の働き方改革に向けてどのように取り組むのか聞きたい。

答弁 教員不足の解消と労働環境の改善のため、教職員の働き方改革は大変重要であると捉えている。現在、藤沢市立学校教職員の働き方改革基本方針の策定に取り組んでいるが、この方針によって教職員の長時間労働が是正され、心身ともに健康で元気で生き生きと働き方改革を推進していく。具体的取り組みとしては、人的支援や人材活用、ICT等の活用による効率化、担うべき業務の適正化、働き方改革に向けた意識の醸成の4つの柱を考えている。中学校においては部活動指導員が長時間勤務の課題となっており、現在策定している「藤沢市の部活動の在り方に関する方針」の中で部活動指導員制度の導入を検討し、教員の長時間勤務の削減を図り、教職員の働

常任委員会・特別委員会の動き

幼児教育・保育の無償化

国における方針の概要を報告

子ども文教

子ども文教常任委員会は、1月28日と2月22日に開催された。

1月28日の委員会では、藤沢公民館・労働会館等複合施設の視察を行った。

2月22日の委員会では、議案2件、陳情1件を審査した。その結果、議案は1件が可決すべきもの、1件が継続審査、陳情は趣旨了承と決定した。

また、①藤沢市子ども子育て家庭の生活実態調査の結果報告書(案) ②村岡公民館等再整備基本構想(案) ③南市民図書館・市民ギヤ育所における保育料が無償化により子どもたちに対して幼児教育の機会を保障する



無償化により子どもたちに対して幼児教育の機会を保障する

ラリーの暫定移設④藤沢市保育所整備計画(ガイドライン)の進捗状況等⑤幼児教育・保育の無償化の概要を報告した。以上5件について報告を受けた。

○幼児教育・保育の無償化の概要について (市の説明) 平成31年10月から開始予定の幼児教育・保育の無償化における国の方針として、無償化の対象者は、3歳から5歳の児童及びゼロ歳から2歳の住民税非課税世帯の児童で、幼稚園や認可保育所における保育料が無償化となる。

認可外保育施設などを利用する場合は、保育料としての基本サービス分は無償となるが、延長保育などの併用サービス分は利用料を支払う必要がある。認可外保育施設などを利用する際には、基本サービス分は無償となるが、延長保育などの併用サービス分は利用料を支払う必要がある。

片瀬江ノ島駅前広場整備計画 車道のあり方について 地域住民と意見交換を実施 建設経済

建設経済常任委員会は、2月20日に開催され、議案3件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきものと決定した。

市税のクレジットカード納付 対象税目や納付上限額を拡大 総務

総務常任委員会は、2月25日に開催され、議案6件、指針1件、陳情3件を審査した。その結果、議案は全て可決すべきもの、陳情は全て趣旨不承と決定した。

藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会 藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会は、2月7日に開催され、藤沢都心部再生及び公共施設の再整備について審査を行った。

0円までが無償となる。さらに、保育の必要性がある場合に限り幼稚園の預かり保育などの併用サービス分が、別途、月額1万1300円までが無償となる。

認可外保育施設などを利用する場合は、保育料としての基本サービス分は無償となるが、延長保育などの併用サービス分は利用料を支払う必要がある。

介護保険課における不適正な事務処理への対応 見える化により再発防止に努める 厚生環境

厚生環境常任委員会は、1月22日と2月21日に開催された。議案は可決すべきもの、請願は不採択とすべきもの、陳情は趣旨不承と決定した。

介護保険課において第三者行為請求事務の処理を放置してきた126件のうち、求償が必要と判断した46件について、現在の対応状況を報告した。

補正予算常任委員会 補正予算常任委員会は、2月26日と3月20日に開催された。

藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会 藤沢都心部再生・公共施設再整備特別委員会は、2月7日に開催され、藤沢都心部再生及び公共施設の再整備について審査を行った。

議案等審議結果一覧

○：賛成 ×：反対
 △：賛否が分かれる
 -：陳情を審査する委員会(付託委員会)への委員の選出なし

| 番号 | 件名 | 結果 年月日 | 各会派の賛否 | | | | | | |
|-------------|---|---------------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | 民主ク | 市民ク | 公明党 | 湘風会 | 共産党 | 自民藤 | 市民派 |
| 市長提出 | | | | | | | | | |
| 58 | 工事請負契約の締結について(藤沢市南市民図書館等の暫定移設に伴う工事に係る負担) 付託せず | 可決 31.3.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 59 | 市道の認定について(下根広町線ほか109路線) 建設経済 | 可決 31.3.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 60 | 市道の廃止について(下根広町線ほか156路線) 建設経済 | 可決 31.3.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 61 | 指定管理者の指定について(湘南台駅東口路上第1自転車駐車場ほか2施設) 付託せず | 可決 31.2.19 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 62 | 藤沢市表彰条例の一部改正について 総務 | 可決 31.3.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 63 | 藤沢市青少年問題協議会条例の一部改正について 子ども文教 | 可決 31.3.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 64 | 藤沢市印鑑条例及び藤沢市住民基本台帳カードの利用に関する条例の一部改正について 総務 | 可決 31.3.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 65 | 藤沢市職員定数条例の一部改正について 予算等 | 可決 31.3.20 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 66 | 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について 総務 | 可決 31.3.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| 67 | 藤沢市職員の自己啓発等休業及び修学部分休業に関する条例の一部改正について 付託せず | 可決 31.2.19 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 68 | 藤沢市常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正について 総務 | 可決 31.3.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 69 | 藤沢市一般職員の給与に関する条例等の一部改正について 総務 | 可決 31.3.1 | ○ | ○ | ○ | ※1 | × | ○ | × |
| 70 | 藤沢市手数料条例の一部改正について 総務 | 可決 31.3.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 71 | 藤沢市特別会計条例の一部改正について 付託せず | 可決 31.2.19 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 72 | 藤沢都市計画事業柄沢特定土地区画整理事業施行条例の一部改正について 付託せず | 可決 31.2.19 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 73 | 藤沢市建築基準等に関する条例の一部改正について 建設経済 | 可決 31.3.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| 74 | 藤沢市保育所条例の一部改正について 付託せず | 可決 31.2.19 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| 75 | 藤沢市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について 付託せず | 可決 31.2.19 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 76 | 藤沢市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について 厚生環境 | 可決 31.3.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 77 | 藤沢市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部改正について 付託せず | 可決 31.2.19 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 78 | 平成30年度藤沢市一般会計補正予算(第5号) 補正予算 | 可決 31.3.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ※1 | × | ○ |
| 79 | 平成30年度藤沢市北部第二(三地区)土地区画整理事業費特別会計補正予算(第1号) 補正予算 | 可決 31.3.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 80 | 平成30年度藤沢市墓園事業費特別会計補正予算(第1号) 補正予算 | 可決 31.3.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 81 | 平成30年度藤沢市国民健康保険事業費特別会計補正予算(第1号) 補正予算 | 可決 31.3.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 82 | 平成30年度藤沢市柄沢特定土地区画整理事業費特別会計補正予算(第1号) 補正予算 | 可決 31.3.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 83 | 平成30年度藤沢市介護保険事業費特別会計補正予算(第1号) 補正予算 | 可決 31.3.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 84 | 平成30年度藤沢市後期高齢者医療事業費特別会計補正予算(第1号) 補正予算 | 可決 31.3.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 85 | 平成30年度藤沢市下水道事業費特別会計補正予算(第1号) 補正予算 | 可決 31.3.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |
| 86 | 平成30年度藤沢市民病院事業会計補正予算(第1号) 補正予算 | 可決 31.3.1 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 87 | 平成31年度藤沢市一般会計予算 予算等 | 可決 31.3.20 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × |
| 88 | 平成31年度藤沢市北部第二(三地区)土地区画整理事業費特別会計予算 予算等 | 可決 31.3.20 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ |

| 番号 | 件名 | 結果 年月日 | 各会派の賛否 | | | | | | |
|-------------|---|-----------------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | 民主ク | 市民ク | 公明党 | 湘風会 | 共産党 | 自民藤 | 市民派 |
| 89 | 平成31年度藤沢市墓園事業費特別会計予算 予算等 | 可決 31.3.20 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 90 | 平成31年度藤沢市国民健康保険事業費特別会計予算 予算等 | 可決 31.3.20 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| 91 | 平成31年度藤沢市湘南台駐車場事業費特別会計予算 予算等 | 可決 31.3.20 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 92 | 平成31年度藤沢市介護保険事業費特別会計予算 予算等 | 可決 31.3.20 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| 93 | 平成31年度藤沢市後期高齢者医療事業費特別会計予算 予算等 | 可決 31.3.20 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| 94 | 平成31年度藤沢市下水道事業費特別会計予算 予算等 | 可決 31.3.20 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ |
| 95 | 平成31年度藤沢市民病院事業会計予算 予算等 | 可決 31.3.20 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 96 | 平成30年度藤沢市一般会計補正予算(第6号) 補正予算 | 可決 31.3.20 | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × |
| 議員提出 | | | | | | | | | |
| 7 | 藤沢市子どもの未来応援条例の制定について 子ども文教 | 継続審査 31.3.20 | ※2 | | | | | | |
| 12 | 精神障がい者にも他障がい同等の交通運賃割引の適用を求める意見書について 付託せず | 可決 31.3.20 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 13 | 日米地位協定の抜本的改定を求める意見書について 付託せず | 可決 31.3.20 | ○ | ○ | × | × | ○ | × | ○ |
| 請願 | | | | | | | | | |
| 3 | 全国知事会「提言」による日米地位協定の抜本的改定を求める請願 総務 | 採択 31.3.1 | ○ | ○ | × | × | ○ | × | ○ |
| 4 | 地域共生社会にむけての請願 厚生環境 | 不採択 31.3.1 | ○ | × | × | × | ○ | × | ○ |
| 陳情 | | | | | | | | | |
| 22 | 精神障がい者にも他障がい同等の交通運賃割引の適用を求める意見書提出を求める陳情 厚生環境 | 趣旨了承 31.2.21 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - |
| 24 | 旧三鶯八郎右衛門家住宅の保存継承についての陳情 子ども文教 | 趣旨了承 31.2.22 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 25 | 「平和で民主的な文化行政を建設する」と言う精神から、辻堂市民センターの移転、複合化を中止するように市に働きかけを求める陳情 総務 | 趣旨不承 31.2.25 | × | × | × | × | ○ | - | - |
| 26 | 都市計画税廃止の陳情 総務 | 趣旨不承 31.2.25 | × | × | × | × | ○ | - | - |
| 27 | 辻堂市民センター改築実施設計終了前の見直しについての陳情 総務 | 趣旨不承 31.2.25 | × | × | × | × | ○ | - | - |
| 28 | 藤沢市議会の政務活動費の透明性を高めるための陳情 議会運営 | 趣旨不承 31.2.27 | × | × | × | × | ○ | - | - |

※1 退席した議員：堺英明
 ※2 継続審査となったため、子ども文教常任委員会において引き続き審査。なお、4月30日までに議決されない場合は廃案となります。

| 会派名 | 省略表示 | 所属議員 |
|------------------|------|---|
| 民主クラブ(9) | 民主ク | 大矢 徹 清水竜太郎 永井 譲 柳田秀憲 竹村雅夫 脇 礼子 浜元輝喜 友田宗也 有賀正義 |
| 市民クラブ藤沢(8) | 市民ク | 山口政哉 桜井直人 佐賀和樹 北橋節男 西 智 井上裕介 原田伴子 佐藤春雄 |
| 藤沢市公明党(6) | 公明党 | 阿部すみえ 平川和美 東木久代 武藤正人 塚本昌紀 松下賢一郎 |
| ふじさわ湘風会(6) | 湘風会 | 栗原義夫 渡辺光雄 神村健太郎 堺 英明 吉田淳基 加藤 一 |
| 日本共産党藤沢市議会議員団(4) | 共産党 | 土屋俊則 味村耕太郎 山内幹郎 柳沢潤次 |
| 自民党藤沢(1) | 自民藤 | 宮戸 光 |
| 市民派クラブ(1) | 市民派 | 酒井信孝 |

※上記は、平成31年2月定例会時における会派構成です。
 ()内の数字は会派内の人数、下線は会派代表者、会派内の氏名は議席番号順